

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ルネサスエレクトロニクス株式会社（証券コード:6723）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A +
安定的

■格付事由

- 大手半導体メーカー。主力製品のマイクロコントローラ（MCU）は世界トップクラスのシェアを有し、国内外の自動車分野や産業・インフラ・IoT 分野における有力企業を中心に安定した取引を継続している。近年は海外企業の買収を積極的に進めており、17 年に米 Intersil 社、19 年に米 IDT 社、21 年に英 Dialog 社、24 年に米 Altium 社を買収した。当社が強みを有する MCU にアナログ半導体やパワー半導体といった M&A により獲得した製品などを組み合わせることで付加価値の向上を図っている。
- 今後も現状程度の営業利益を確保できると考えられる。自動車向け需要の回復に時間を要しているが、中長期的には新興国における需要増加が見込まれる。また、自動車の電動化、自動運転の普及によって 1 台あたりに搭載される半導体の量が増えると想定される。産業・インフラ・IoT 分野は AI 関連需要が旺盛で、当面の同事業の成長をけん引するとみられる。財務面では 25/12 期第 3 四半期累計で最終赤字となっており親会社の所有者に帰属する持分が減少したが、依然として良好な財務内容が保たれている。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/12 期の営業利益（IFRS）は第 3 四半期までの累計で 1,339 億円（前年同期比 33.3%減）となった。低調な需要を背景に売上収益が減少したことが主な要因である。一方、各需要先とも需要に底打ち感が出ているほか、AI 関連需要が堅調で、四半期ごとの営業利益は 25/12 期第 1 四半期をボトムに改善傾向にある。今後も足元と同様の事業環境が継続する見通しであり、26/12 期以降業績は緩やかに回復していくと考えられる。
- 25/12 期第 3 四半期末の親会社所有者帰属持分比率は 55.8%とおおむね 24/12 期末並みの水準となった。Wolfspeed 社との再建支援契約締結に伴う損失を計上し親会社の所有者に帰属する持分が減少したが、有利子負債の削減などによって総資産も減少し、財務構成に大きな影響は生じなかった。当面大規模投資は計画されておらず、今後有利子負債の減少や利益蓄積に伴って財務内容が改善していくと考えられる。

（担当）関口 博昭・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：ルネサスエレクトロニクス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 12 月 23 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：関口 博昭
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「電機」（2024 年 2 月 8 日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) ルネサスエレクトロニクス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル